

## サツマイモ\*1 (野菜類、イモ類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用機構分類コード	人畜毒性	使用時期(日数)	使用回数	黒斑病	斑点病	つる割病	基腐病
I Cボルドー-66DFL	M1		*d	-				◎
クプロシールド水	M1		-	-				◎
Zボルドー水	M1		-	-		◎		◎
ドイツボルドーA水	M1		-	-		◎		
ジーファイン水	NC・M1		1	-				◎
トップジンM水㊦	1		*a	1	◎			
			*c	1				◎
ベンレート水㊧	1		*a	1	◎		◎	◎
			*b				◎	
			7	3		◎		
アミスター20FL	11		14	3				◎
フリントFL25	11		*a	1				◎
フロンサイド粉	29		*a	1				◎
フロンサイドSC	29		*a	1				◎
			30	2				◎
トリフミン水	3		*a	1			◎	◎
			1	2				◎
ベンレートT水20㊨	1・M3		*a	1	◎		◎	◎

㊦:チオファネートメチル含有剤 ㊧:ベノミル含有剤 ㊨を使用した場合には同じ作での㊧は使用しないこと。その逆も同様(種子への処理および塗布処理を除く)。\*1:サツマイモ…カンショ(シモンいもを含む)

\*a:植付前 \*b:挿苗時 \*c:貯蔵前～伏せ込み前 \*d:発病前～発病初期

※植付前に使用できる農薬は、商品によって使用方法が異なるため、必ずラベル等を確認してから使用する。

サツマイモ\*1 (野菜類、イモ類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用機 構分 類コ ード	人 使 用 時 期 (回 数)	畜 毒 性	ア	コ	ネ	イ	ヨ	シ	ハ	ネ	ナ	エ	ヒ	ハ	コ	ゾ	ヨ	ケ	ハ	セ
				ブ ラ ム シ 類	ナ ジ ラ ミ ウ マ ガ シ 類	ギ ア ザ コ ム ガ シ 類	モ ウ ム シ ウ 類	ト モ ジ ヨ ト ウ 類	ス モ ン ヨ ト ウ 類	キ ジ ロ シ ム シ 類	カ ガ ラ ス ズ バ メ 類	ビ ガ ラ ス ズ バ メ 類	ル ガ オ ハ モ グ リ ガ 類	リ ガ ネ ム シ 類	ム シ 類	ガ ネ ム シ 類	ウ ネ ム シ 類	モン カ メ ノ コ ハ ム シ 類	ケ ラ 類	ハ ダ ニ ウ 類	セ ン チ ユ ウ 類
コロマイト乳	6	1	2																		◎
オリオン水40	1A	劇	1	5			◎			◎	◎										
スミチオン乳	1B		7	5	◎		◎											◎			
ダイアジノン粒5	1B		30	3													幼			◎	
ダイアジノンSLゾル	1B		*c	1													幼				
ガードホープ液	1B	劇	*c	1							◎										
ネマキック粒	1B		*c	1																	ネ
ネマトリンエース粒	1B		*n	1																	ネ
			*c	1																	ネ
プリンスバイト粒	2B		*c	1													◎				◎
			*a	1													◎				イ
アグロスリン水	3A	劇	7	5	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎							
			7	2	茎	茎	茎	茎	茎	茎	茎	茎	茎	茎							
アディオソ乳	3A		7	5			◎														
ガードバイトA粒	3A		*Q	5							◎										
トレボン乳	3A		7	3	◎				◎	◎	◎										
フォース粒	3A	劇	*c	1													◎		幼		
アクタラ粒5	4A		*c	1																	幼
			*k	1	◎																
アドマイヤー1粒	4A		*c	1																	◎
アルバリン顆溶	4A		3	1	◎	◎															
スタークル顆溶	4A		7	2	◎																
ダントツ溶	4A		*k	1	◎																
ダントツ粒	4A		*c	1																	◎
			*c	1																	ト
ビーラムプラス粒	4A		*c	1																	◎
ベストガード溶	4A		*k	3	◎	◎															
モスピラン顆溶	4A	劇	1	3	◎																◎
ネマトリンパワーD粒	4A・1B		*c	1																	◎
			5	1						◎	◎	◎									ネ
ディアナSC	6		1	3						◎	◎										
アニキ乳	6		7	3						◎	◎										
アフーム乳	6		7	3					◎	◎											
ネマグリーンFL	7		*c	1																	ネ

サツマイモ

サツマイモ\*1(野菜類、イモ類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用機 構分類 コード	人使使 用時 期(回 数)	ア	コ	ネ	イ	ヨ	シ	ハ	ナ	エ	ヒ	ハ	コ	ゾ	ヨ	ケ	ハ	セ
			ブ	ナ	ギ	モ	ト	ロ	ス	ネ	ナ	ビ	ル	リ	ガ	ム	ウ	ツ	ダ
			ラ	ジ	ア	ウ	イ	モ	シ	キ	ガ	ガ	オ	ム	ム	モン	ケ	ダ	チ
			ミ	ラ	ザ	コ	ム	シ	ム	シ	ラ	ハ	ネ	シ	シ	カ	メ	ノ	コ
			ウ	ミ	ウ	マ	シ	ウ	シ	シ	ス	グ	シ	シ	ハ	ノ	コ	ハ	ム
			シ	ウ	ウ	ガ	シ	ウ	ウ	シ	ズ	リ	シ	シ	ハ	ノ	コ	ハ	ム
			類	類	類	類	類	類	類	類	バ	メ	ガ	類	類	類	シ	ラ	類
			性	類	類	類	類	類	類	類	類	類	類	類	類	類	類	類	類
コルト顆水	9B	1 3	◎◎																
ニッソラン水	10A	7 2																	◎
コテツFL	13	1 2	劇					◎◎								◎			◎
アタブロン乳	15	7 5						◎											
カスケード乳	15	7 2						◎	◎										
ノーモルト乳	15	7 2						◎	◎						サ				
マッチ乳	15	14 2						◎	◎										
マトリックFL	18	7 3						◎	◎										
ロムダンFL	18	7 3						◎	◎										
マイトコーネFL	20D	3 1																	◎
サンマイトFL	21A	1 2	劇	◎															◎
トルネードエースDF	22A	7 2						◎	◎										
ファイントリムDF	22A	7 2						◎	◎										
アクセルFL	22B	1 3						◎	◎										◎
ダニサラバFL	25A	1 2																	◎
フェニックス顆水	28	1 2						◎	◎	◎									
プレバソンFL5	28	1 3						◎	◎	◎									
ベネピアOD	28	7 3			タ			◎	◎	◎					ア			◎	
グレーシア乳	30	7 2		◎				◎	◎						イ				◎
プロフレアSC	30	1 3				◎		◎	◎	◎	◎								◎
プレオFL	UN	7 2						◎	◎	◎									
ビーラム粒	-	*c 1																	
粘着くん液	-	1 -																	セ
粘着くん液	-	1 -																	◎
ハクサップ水	1B・3A	劇 7 5				◎		◎	◎◎										
アフアームエクセラ顆水	6・15	14 2						◎	◎	◎									
ミネクトエクストラSC	28・15	14 2						◎	◎										

\*1:サツマイモ…カンショ(シモンいもを含む)

\*a:植付時 \*c:植付前 \*f:成虫発生初期 \*j:植付前(挿苗前) \*k:育苗期

\*n:苗床植付前 \*p:5~6回 \*Q:生育初期

ア:アリモドキゾウムシ イ:アリモドキゾウムシ、イモゾウムシ

サ:ハイイロサビビョウタンゾウムシ セ:ネコブセンチュウ、ネグサレセンチュウ

タ:タバココナジラミ ト:トビイロビョウタンゾウムシ ネ:ネコブセンチュウ

幼:幼虫 茎:かんしょ(茎葉)

サ  
ツ  
マ  
イ  
モ

## サツマイモ(野菜類、イモ類の登録農薬も使用できる)

主要病害虫発生消長	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
病	普通			—						—	—	
	黒斑病		—	—						—	—	
害	つる割病				—	—	—	—	—	—		
	イモコガ						—	—	—	—		
虫	コガネムシ類 幼虫				—	—	—	—	—	—		
	成虫					—	—	—	—	—		
害	ナカジロシタバ								—	—		

作 型                   — ; 栽培期                   — ; 収穫期  
 病害虫発生消長   — ; 発生期                   — ; 発生盛期

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
黒斑病	伏込前	1. 健全な種いもを使用する。 2. 種いもを47～48℃の湯に40分間浸漬して、ただちに伏せ込む。	発病種いも及び土中に残った被害いもが伝染源となる。
	育苗前	・ 苗床の床土は無病地の心土にする。	一般にハリガネムシの被害を受けやすい品種が弱いといわれている。
	定植前	1. 苗をとるときは、かき苗をやめ、基部6cm位残すように切りとり、苗の基部1/3(約10cm)を47～48℃の湯に15分間浸漬する。 2. 次の薬剤のいずれかを処理する。 (種いもまたは苗基部浸漬処理) トップジンM水和剤① 200～500倍液 20～30分間 (さし苗基部浸漬処理) ベンレートT水和剤20⊙ 20倍液                   1分間 200倍液                30分間 (苗基部浸漬処理) ベンレート水和剤⊙ 500～1000倍液 20～30分間	①:チオファネートメチル含有剤 ⊙:ベンシル含有剤 ①を使用した場合には同じ作での⊙は使用しないこと。その逆も同様(種子への処理及び塗布処理を除く)。
	収穫期	・ 掘り採りの際、発病のあった畑からは採種しない。	
紫紋羽病	定植前	・ 本畑は土壤消毒を行う(土壤消毒の項参照)。	

サ  
ツ  
マ  
イ  
モ

## サツマイモ(野菜類、イモ類の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
基腐病	植付前	1. 土壌消毒する(土壌消毒の項参照)。 2. 次の薬剤のいずれかを処理する。 (苗浸漬処理) ベンレート水和剤Ⓐ 500~1000倍液 30分 ベンレートT水和剤20Ⓒ 200倍 30分 (土壌処理) フロンサイド粉剤 40kg/10a フロンサイドSC 50~200L/10a ※処理方法はラベル等を確認する	排水不良は発病を助長する。 ㊦:チオファネートメチル含有剤 ㊧:ベニシ含有剤 ㊦を使用した場合には同じ作での㊧は使用しないこと。その逆も同様(種子への処理及び塗布処理を除く)。
	生育期	・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 Zボルドー 500倍 ジーファイン水和剤 1000倍 アミスター20フロアブル 2000倍 フロンサイドSC 1000倍	
つる割病	伏込前	・種いもは健全なものを使用する。	種いも伝染、苗伝染、土壌伝染する。特に種いもは健全なものを選抜する。 ㊦:チオファネートメチル含有剤 ㊧:ベニシ含有剤 ㊦を使用した場合には同じ作での㊧は使用しないこと。その逆も同様(種子への処理及び塗布処理を除く)。
	定植前	1. 土壌消毒する(土壌消毒の項参照)。 2. 次の薬剤に苗基部を浸漬処理する。 ベンレート水和剤Ⓐ 500~1000倍液 20~30分間	
	挿苗時	・次の薬剤を株元にかん注する。 ベンレート水和剤Ⓐ 500~1000倍液 20~40mL/株	㊦:チオファネートメチル含有剤 ㊧:ベニシ含有剤 ㊦を使用した場合には同じ作での㊧は使用しないこと。その逆も同様(種子への処理及び塗布処理を除く)。
軟腐病	伏込前	・健全無傷いもを使用する。	本病はリゾープス菌による。
	貯蔵中	・罹病いもは速やかにとりのぞく。	主として貯蔵中に発生し、いもの生活力がいちじるしく低下したとき病原菌が傷口から侵入し発病する。

## サツマイモ(野菜類、イモ類の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
ナカジロシタバ	生育期	・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 トレボン乳剤 1000倍 ノーマルト乳剤 1000倍	8～9月に発生が多い。
イモコガ(イモキバガ)	生育期	・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 アディオン乳剤 3000倍 スミチオン乳剤 1000倍	乾燥のときに発生が多い。
コガネムシ類幼虫	植付前	・次の薬剤を処理する。 フォース粒剤 全面土壌混和又は 作条土壌混和 9kg/10a	未熟堆肥の多用は発生を助長する。
	生育期 (7月下旬～8月中旬)	・次の薬剤を作条に散布して軽く覆土する。 ダイアジノン粒剤5 4～6kg/10a	
ネコブセンチュウ	苗床植付前	・次の薬剤を全面に施用して土壌混和する。 ネマトリンエース粒剤 10～30kg/10a	
	植付前	1. 土壌消毒をする(土壌消毒の項参照)。 2. 次の薬剤のいずれかを施用して土壌混和する。 ネマキック粒剤 (全面) 15～50kg/10a ネマトリンエース粒剤 (全面) 10～30kg/10a	